

小開口用壁貫通部防火措置材

タフロックイチジカンパット

認 定 書

国土交通大臣認定番号

PS060WL-0694

認定をした構造方法又は建築材料の名称

ケーブル・電線管／外装材付グラファイト混入無機質充填材シート・
有機質バインダー入無機質充填材充填／壁準耐火構造／貫通部分

 **ネグロス電工株式会社**

技 術 部

認定書

国住指第 32 号
平成 25 年 7 月 22 日

株式会社古河テクノマテリアル
代表取締役社長 戸崎 敏夫 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0694
2. 認定をした構造方法等の名称
ケーブル・電線管／外装材付グラファイト混入無機質充てん材シート・有機質バインダー入無機質充てん材充てん／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

別添

1. 構造名：

ケーブル・電線管／外装材付グラファイト混入無機質充てん材シート・有機質バインダー入無機質充てん材充てん／壁準耐火構造／貫通部分

2. 申請仕様の寸法等：

申請仕様の寸法等を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法等

項目		申請仕様
開口部	形状	円形(φ160mm以下)
	面積	0.02m ² 以下
占積率 (開口面積に対するケーブル・電線管の断面積の総合計の割合)		26.6%以下
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令115条の2の2第1項第一号の規定に基づく準耐火構造(60分) 又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造(60分) 厚さ60mm以上

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に、ケーブル・電線管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目		申請仕様		
シート		材料	外装材付グラファイト混入無機質充てん材シート	
		寸法	総厚さ：2.25mm以上 幅：30mm以上(片側壁面から30mm以上)	
		使用箇所	壁片側のケーブル・電線管周囲に1周以上巻付け	
	表面材	材料	①又は② ①ガラスクロス(化粧：あり又はなし) 化粧の材質：1)～4)の一 1)ポリエチレン系樹脂 2)塩化ビニル系樹脂 3)シリコン系樹脂 4)オレフィン系樹脂 質量：75g/m ² 以下 ②アルミニウム箔貼付ガラスクロス	
			厚さ	0.25mm以上
	熱膨張性耐火シート	材料	グラファイト混入無機質充てん材シート	
		厚さ	2mm以上	
		密度	1.66(±0.15)g/cm ³	
	裏面材	組成(質量%)	材料組成は社外秘とさせていただきます	
			材料	①～④の一(粘着処理：あり(片面)又はなし) ①ポリエチレン系フィルム ②ポリプロピレン系フィルム ③塩化ビニル系フィルム ④ポリエステル系フィルム
		厚さ	0.1mm以下	

つづく

つづき

充てん材	材料	有機質バインダー入無機質充てん材
	密度	0.95 (±0.15) g/cm ³
	組成 (質量%)	材料組成は社外秘とさせていただきます
	使用量	開口内に隙間無く密に充てん (壁片側から壁厚方向に40mm以上)

表3 申請仕様のケーブル・電線管の構成材料

項目	申請仕様			
ケーブル (電線)	導体(又は芯線) の断面積	1本あたり	325mm ² 以下	
		総合計	1242mm ² 以下	
	総有機量	3.07kg/m以下		
	導体(又は芯線) の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質		
	絶縁体	ポリエチレン系	厚さ	4.5mm以下
		塩化ビニル系		
		EPR(エチレンプロピレン系)		
	介在(円形に調整 する充てん材)	紙、ジュート、又はポリオレフィン		
シース	ポリエチレン系	厚さ	3.1mm以下	
	塩化ビニル系			
	ポリオレフィン系			
	合成ゴム系			
電線管	材料	合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411、PF管・CD管)		
	外径	PF管φ36.5mm以下、CD管φ34mm以下		

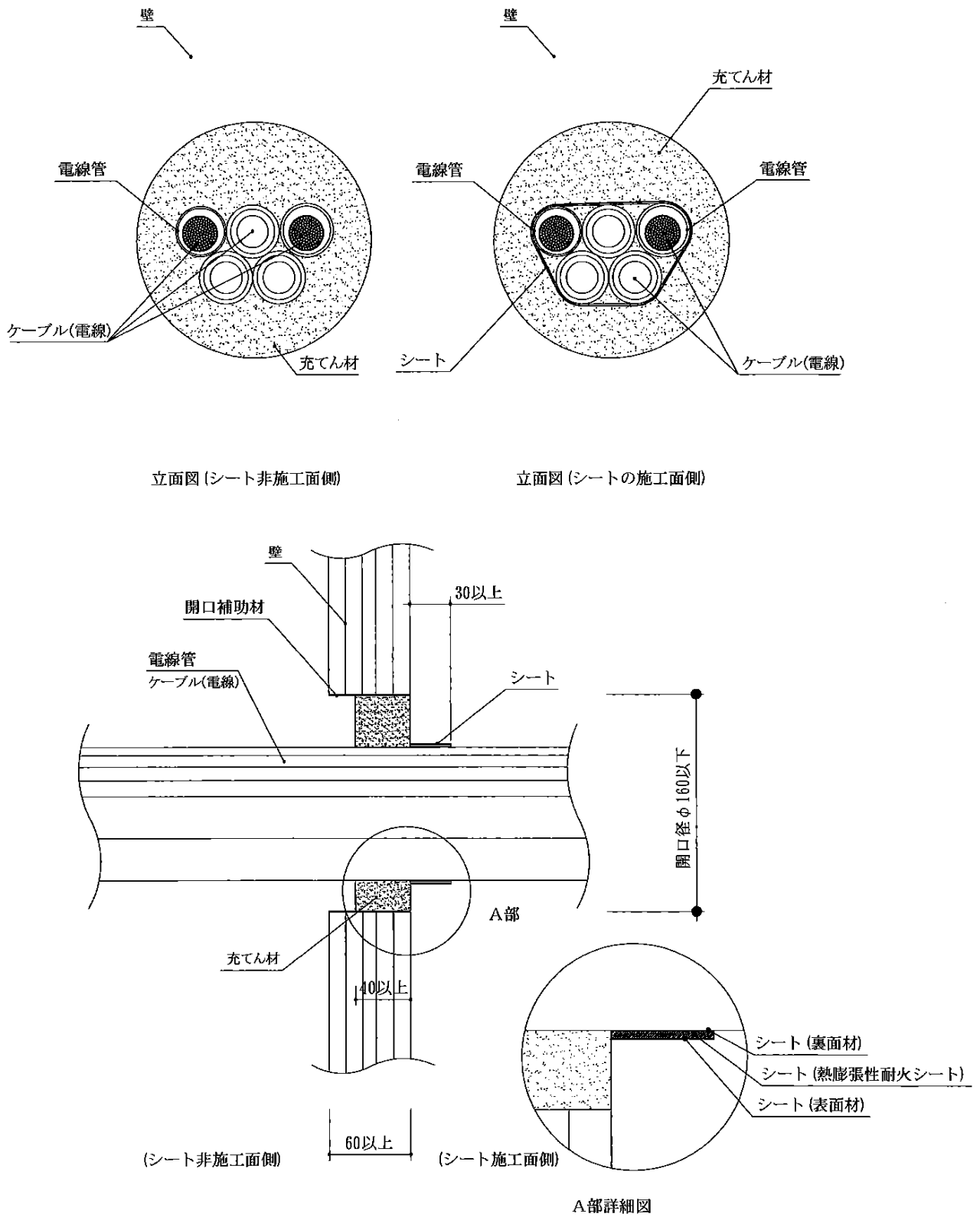
4. 申請仕様の副構成材料：
申請仕様の副構成材料を表4に示す。

表4 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様	
開口補助材 (あり又はなし)	材料	鋼製(めっき処理品含む)又はステンレス鋼製
	寸法	厚さ0.25mm以上、長さ60mm以上
	形状	円筒状
	使用方法	中空壁等の場合に使用

5. 申請仕様の構造説明図：
申請仕様の構造説明図を図1及び図2に示す。

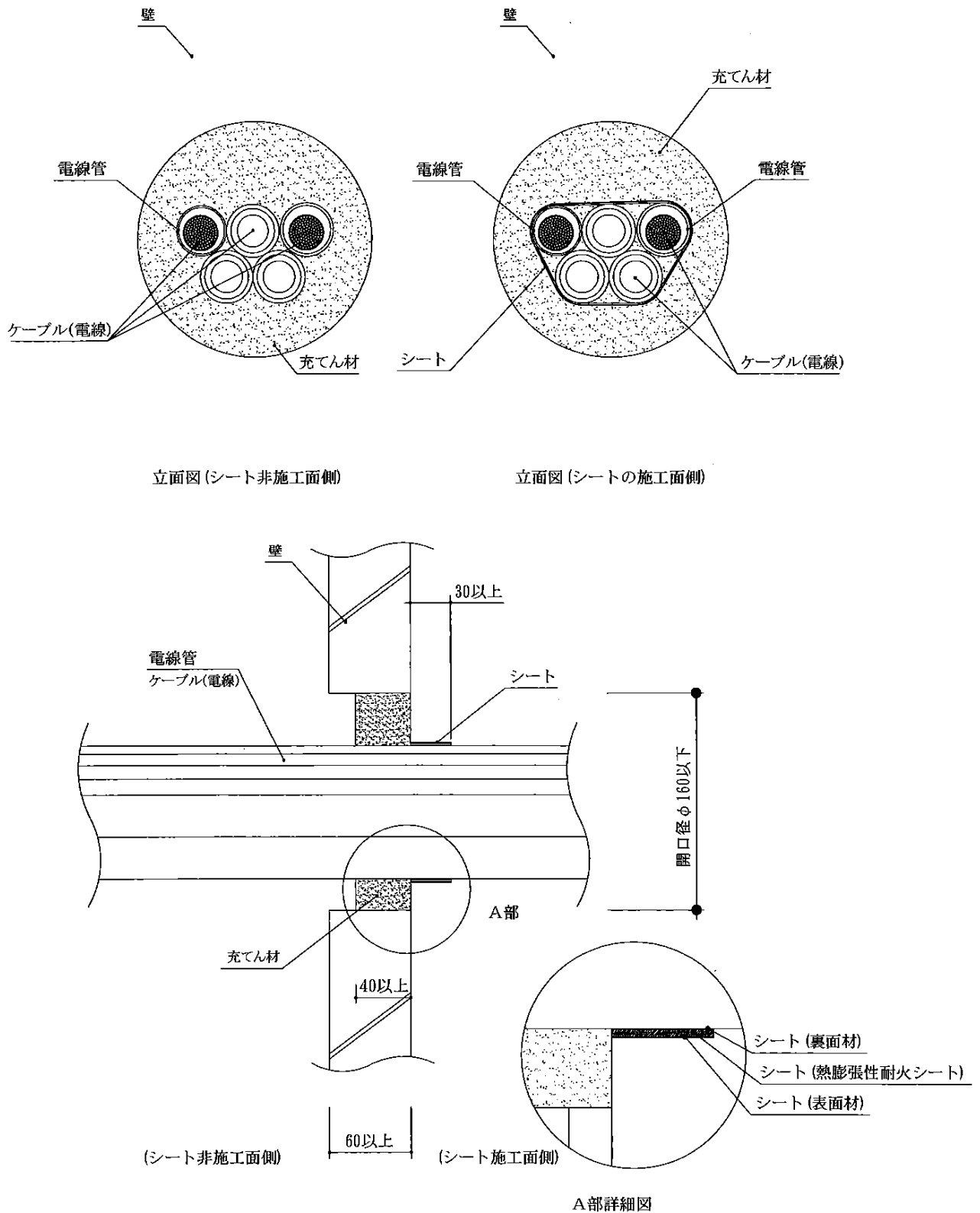
単位 mm



注1) 中空壁等の場合
 注2) 電線管・ケーブル等の配置の一例を示す

図1 構造説明図

単位 mm



注1) ALCパネル、鉄筋コンクリート造等の場合
 注2) 電線管・ケーブル等の配置の一例を示す

図2 構造説明図

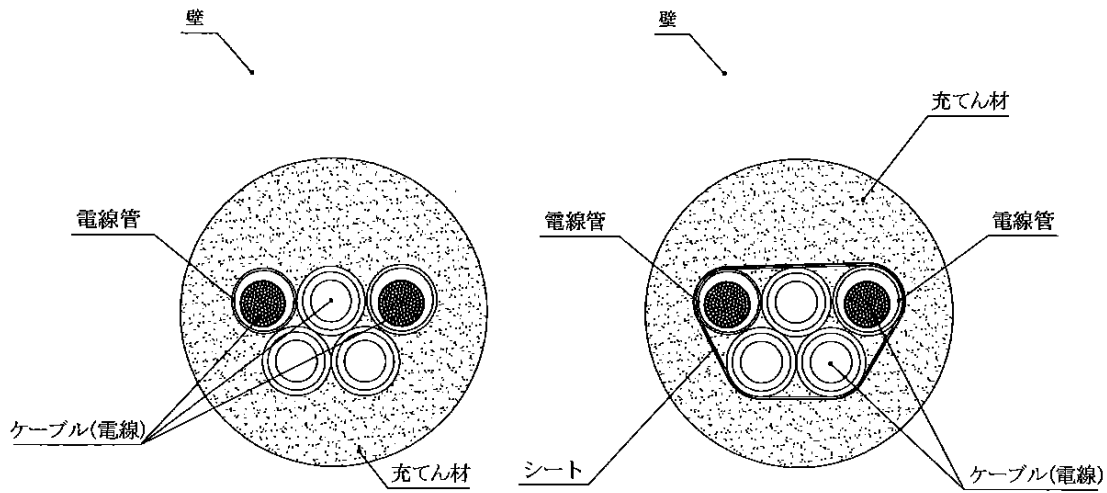
6. 施工方法：

施工図を図3及び図4に示す。

施工は以下の手順で行う。

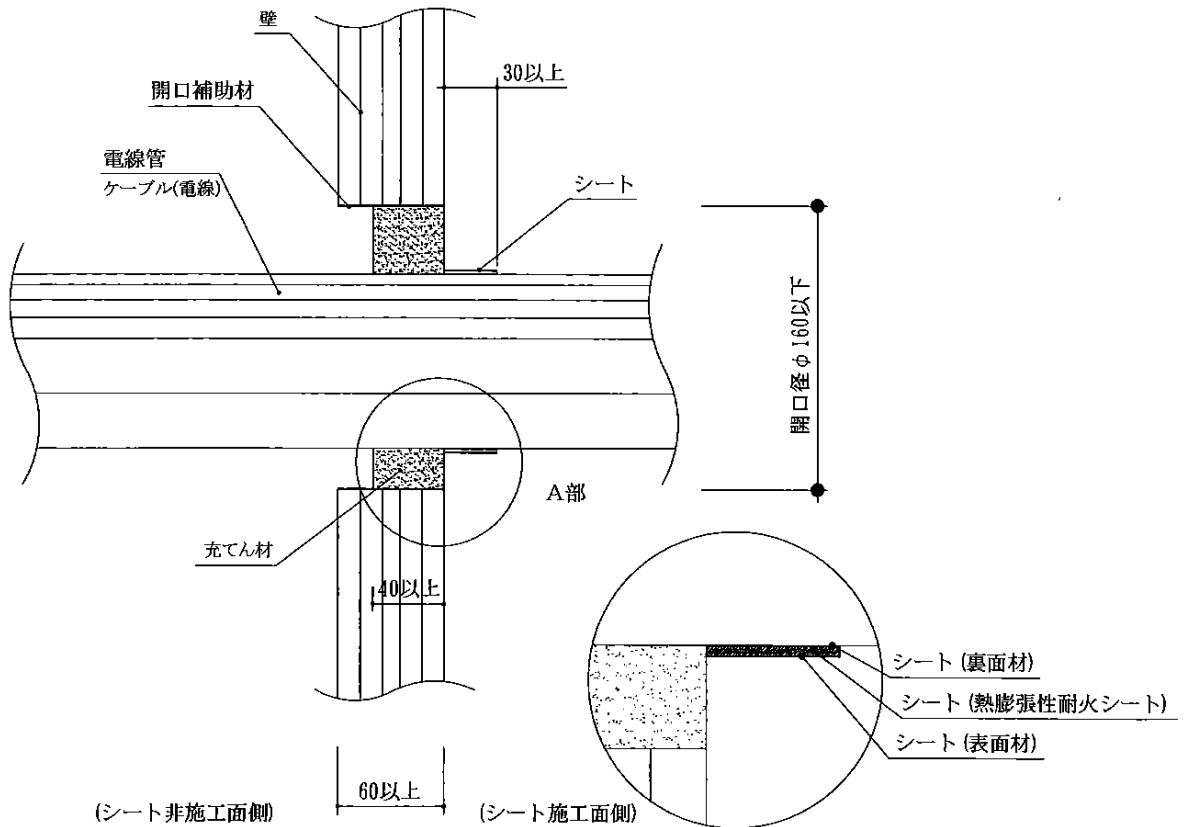
- (1) 開口部の開口面積、壁の構造等が申請仕様に適していることを確認する。
- (2) 開口部の周囲を清掃する。
- (3) 開口部とケーブル・電線管の隙間に耐熱シール材を、壁厚方向に40mm以上密に充てんする。
- (4) シートを、壁片側のケーブル・電線管周囲に1周以上巻付ける。必要に応じて金属線等で固定してもよい。

単位 mm



立面図(シート非施工側)

立面図(シートの施工側)



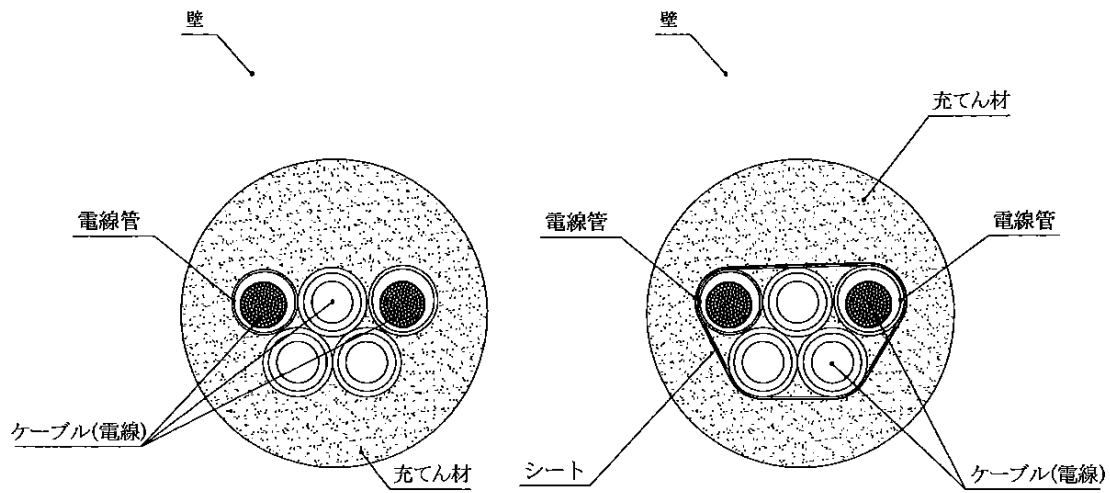
A部詳細図

鉛直断面図

注1) 中空壁等の場合
注2) 電線管・ケーブル等の配置の一例を示す

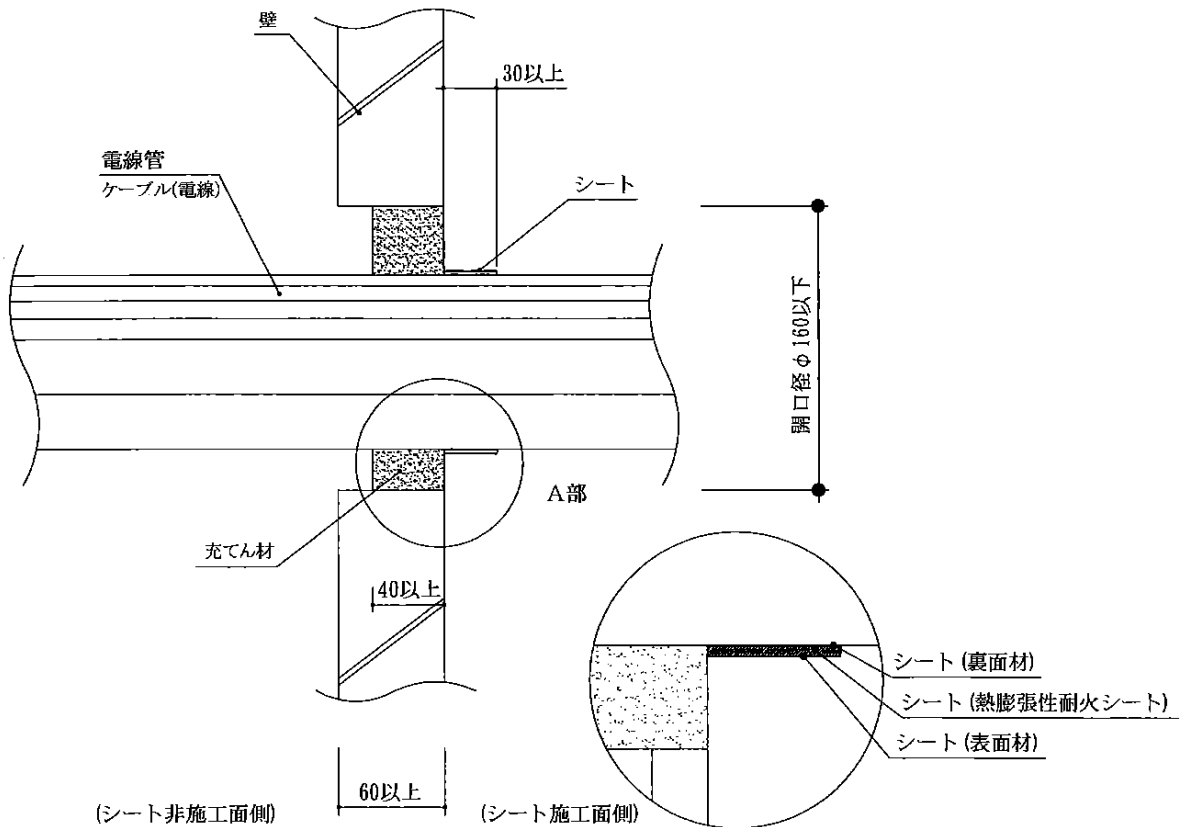
図3 施工図

単位 mm



立面図 (シート非施工面側)

立面図 (シートの施工面側)



A部詳細図

鉛直断面図

注1) ALCパネル、鉄筋コンクリート造等の場合
 注2) 電線管・ケーブル等の配置の一例を示す

図4 施工図